

(シラバス No.1) (基盤科目)

科目名	専門職者としての職能開発	単位数	2 単位	科目コード	M1-1
		形態	必修		M1-2
	Professional Development	担当教員	三輪 建二	教職	-
【授業概要】					
<p>この科目は職能開発という観点から教育に関わる専門職者に求められる資質、すなわち(1)自律的学習者として職能開発と改善を継続的に実行することを可能にする知識・技能・態度、(2)専門職者として同職者集団を形成しピアレビューによって自律的かつ組織的に職務改善に取り組むことを可能にする知識・技能・態度、を獲得させることを目標に講義と演習を行う。授業は主に職能開発サイクルと職能スタンダード、自律的学習者としての行動原則、同職者集団における職能開発のあり方に関する講義と演習を行う。</p>					
【授業の到達目標】					
<p>(1) 教職におけるスタンダードの事例を挙げてその内容を分析し特徴を説明できる。 (2) 自律的学習者のあり方を言語化し、演習やグループワーク等においてその原則を実践できる。 (3) ピアレビューによって発見された課題をもとに専門職者となるためのアクションプランを立案できる。</p>					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職者としての職能開発へのイントロダクション 2. 専門職者の職業倫理と職能開発・改善 3. 職能開発における目標と評価基準(1)：職能開発・改善における PDCA サイクルと目標・評価基準の設定 4. 職能開発・改善における目標と評価基準(2)：専門職における職能スタンダード 5. 職能開発・改善における目標と評価基準(3)：教職スタンダードに関する調査発表 6. 職能開発・改善における目標と評価基準(4)：専門職における同職者集団の役割 7. 自律的学習者としての行動原則(1)：目標の自己管理 8. 自律的学習者としての行動原則(2)：行動のモニターとフィードバック 9. 自律的学習者としての行動原則(3)：課題の発見と行動の修正 10. 自律的学習者としての行動原則(4)：行動原則の言語化 11. 同職者集団の形成(1)：専門職者としての行動原則の共有 12. 同職者集団の形成(2)：ピアレビューによる職務改善・課題の洗い出し 13. 同職者集団の形成(3)：アクションプランの作成 14. 同職者集団の形成(4)：アクションプランの発表 15. 講義のまとめ：専門職としての教職に求められる職能開発、職務改善のあり方とは 					
【評価方法】					
授業への貢献（グループワーク、演習への貢献、研究発表、レポート）50%、科目修得試験 50%					
【教科書】					
授業時に適宜プリントを配布する。					
【参考図書】					
林義樹『ラベルワークで進める参画型教育-学び手の発想を活かすアクティブ・ラーニングの理論・方法・実践』（ナカニシヤ出版、2015）					